



上達し続けるために、自分自身と向き合った

Jリーグ最多得点の裏には、フェアにプレー

佐藤寿人さん プロサッカー選手



佐藤寿人さんは、歴代1位のJリーグ通算220得点をあげた元サッカー日本代表選手。サンフレッチェ広島で3度優勝を成し遂げ、MVPや得点王なども受賞。2020年に引退するまで、21年もの長い期間、活躍できた理由を尋ねてみました。「僕には体が大きいとかスピードが速いなど、特に秀でたものがあつたわけではなく、だからこそ自分がどうしたいのか、自分に何ができるのかを考えることが大事でした。周りから他の選手と比較されてしまうことはありませんが、僕自身がその選手より上に見られたいと意識することはなかったです。その意識は、相手に対する妬みやひがみといったネガティブな感情を生み出す原因にもなりますから。昨日の自分より今日の自分が上達するためにできることを、その積み重ねを子供の頃から引退するまで続けてきました」。

激しい攻防の中でも、常に相手のことを考えている

佐藤寿人さんは、Jリーグのフェアプレー個人賞を3度も獲得した唯一の選手です。激しい攻防の中で、何を心がけていたのか尋ねました。「サッカーは一瞬の判断が重要で、

危険な反則を犯さないことも判断力です。僕は、一か八かで無理に足を出して、相手を危険な目に遭わせるようなプレーは避ける選択をします。常に相手のことを考えて瞬時に判断し、プレーをコントロールできるか。それはプレーの質を高めることにもつながります」。そして、佐藤さんは自らフェアプレーにこだわる理由についても語ってくれました。「僕は子供の頃、カズ(三浦知良)選手やゴン(中山雅史)選手を見て憧れていました。彼らがフェアに激しくプレーする姿は、とてもかっこ良かったですから。僕もそれを見せたい、伝えたいと思って、戦っていましたね」。



「フェアプレー宣言」しました!!



当初は片手投げも許されていましたが、60m近く投げる選手が登場し、ゴールまで届いてしまうことがあり、飛距離を抑えるために両手投げになりました。

【答え】B

スポーツものしりクイズ

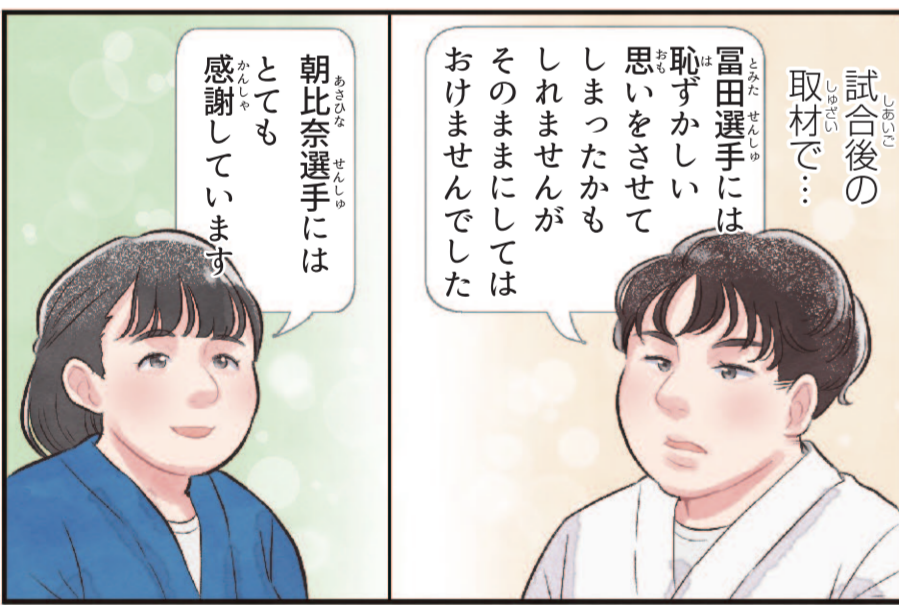
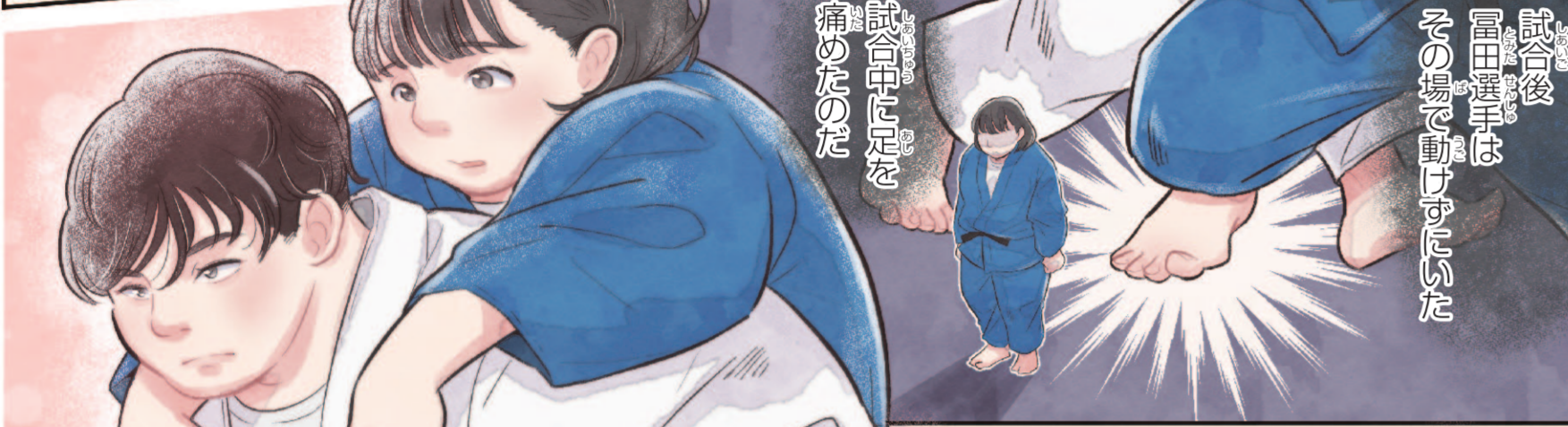
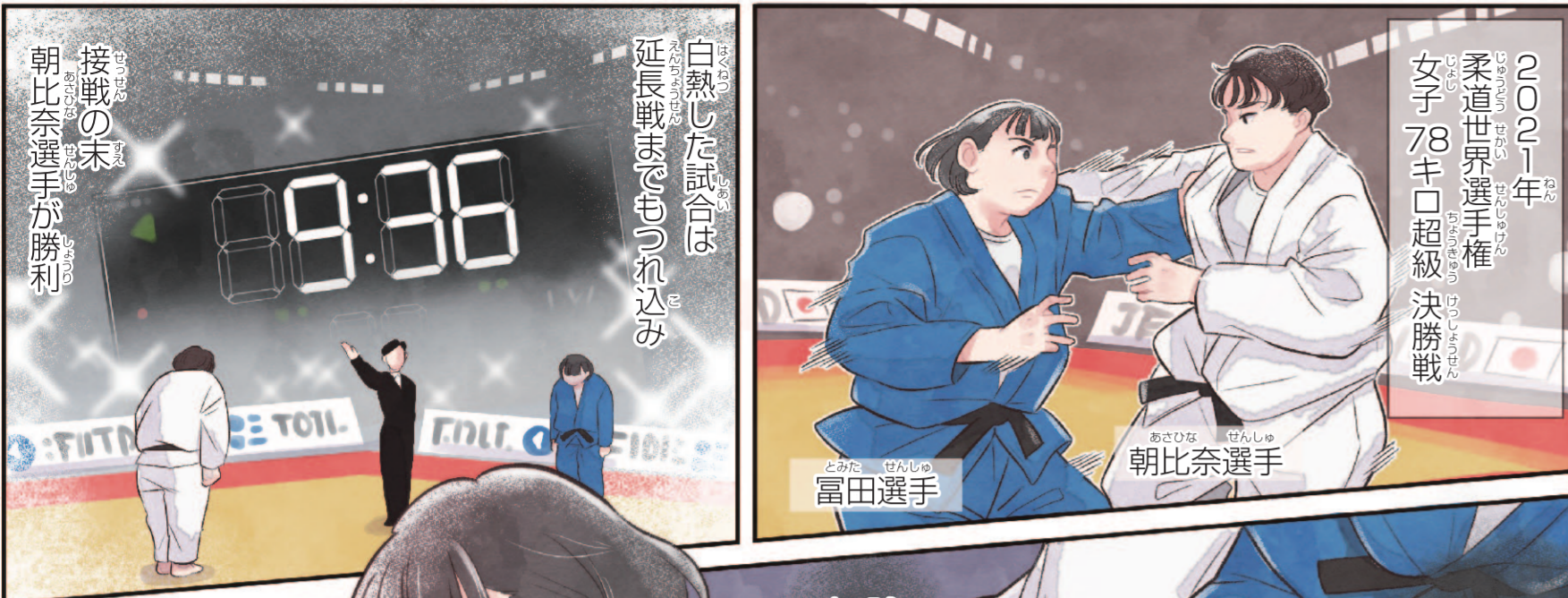
問題 サッカーのスローインは、どうして両手で投げるのでしょうか?

- A 昔のボールは重くて片手で投げられなかったから
- B 片手だと遠くに飛ばしすぎるから
- C 雨の日でもしっかりと投げられるように



金メダル級の思いやり

柔道 朝比奈沙羅選手



2021年 柔道世界選手権 女子78キロ超級 決勝戦
朝比奈選手 富田選手

試合後 富田選手は その場で動けず泣いた
試合中に足を痛めたのだ

朝比奈選手は 勝利を喜ぶより先に 駆け寄って 大丈夫? 富田選手の様子を 確かめると

二人で一緒に 礼をして 畳を降りる姿に 会場は 大きな拍手に 包まれた

試合後の取材で... 富田選手には 恥ずかしい 思いをさせて しまったかも かもしれませんが そのままにしては おけませんでした
朝比奈選手には とても 感謝しています
その姿は 世界のメディアにも 取り上げられ 称賛の声が巻き起こった
金メダル獲得よりも 富田選手の体と心を 思いやった朝比奈選手

